

# 平成 27 年度 ( 英語科 ) 授業改善推進プラン

	指導方法の課題	具体的な授業改善策	補充・発展指導計画
1 年	<p>&lt;「話すこと」、「聞くこと」の授業改善&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英語 A の授業では、教員やクラスメートと英語でコミュニケーション活動を行う機会を増やし、英語 B の授業で自己紹介を繰り返し練習させ、暗唱させる。間違いを恐れず、積極的に英語を使おうとする姿勢を育てる。</li> <li>文中に強弱があることや、音と音がつながって発音が変わることを理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業でのやりとりは基本的に英語で行うとともに、インタビューやスピーチなど英語を使う場面を設定する。また、自己紹介を段階的に増やすことで、年間を通して自分についての長い英文が話せるようにする。</li> <li>正しく聞き取らせるために、音読練習を繰り返し行う。CD 等を活用しながら、正しく「発音させる」指導を行い、英語の音声的な特徴を理解させる。</li> </ul>	<p>補充的な学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>CD の音声や ALT の音声を聞かせ、模倣させる。シャドウイング等も行う。</li> <li>ALT との授業を活用し、コミュニケーション的な内容を多く実践する。</li> </ul> <p>発展的な学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発表などの際に辞書を引かせたり、未習事項に触れたりして様々な表現を覚えさせる。</li> </ul>
	<p>&lt;「書くこと」の授業改善&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業で学んだ表現を活用する機会を多く作る。</li> <li>単語や文を正しく書く指導を徹底する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手紙等を学び、授業で習得した語彙や表現を用いて、自己紹介文やカード等、書く活動を増やす。</li> <li>基本となる例文を正しく書けるようになるまで、何度も反復練習をさせる。生徒に書かせた文章をその都度添削する。</li> </ul>	<p>補充的な学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音声指導を行った文や語句をノートに書かせる。</li> <li>本文のテーマに関連のある単語を書かせる。学習した単語 ( like や play など ) を使って、簡単な英文を作らせる。</li> </ul> <p>発展的な学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>知らない単語や表現など、自分で調べたり、先生や友達が話す英文の表現の綴りや意味を伝えたりする。</li> </ul>
	<p>&lt;「読むこと」の授業改善&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意味を理解させた上での音読指導を徹底する。</li> <li>文章全体の概要把握の指導と特定の箇所を読み取らせるよう指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読前に本文の意味を解説し、強弱や抑揚がなぜつくかを理解させる。ペアリーディング、シャドウイング等様々な方法で音読練習を行わせる。</li> <li>ピクチャーカードを用いた口頭導入などで全体像を理解させる。</li> </ul>	<p>補充的な学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音読の家庭学習を促進する。</li> </ul> <p>発展的な学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英文の 1 文の訳だけでなく、概要をまとめて話をさせる。</li> <li>内容が進んだら、登場人物の心情や状況などを考えさせる。</li> </ul>

様式 3

2 年	<p>&lt;「話すこと」、「聞くこと」の授業改善&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文中に情報としての重要度によって強く読まれるところと、弱く読まれるところがあることを理解させる。</li> <li>・ 英語を用いてコミュニケーションをすることができるという自信をもたせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A L T や C D などの各種教材を多く用い、発音やイントネーションに関する指導の充実を図る。</li> <li>・ 正しく聞き取らせるために、音読練習や簡単な dictation を取り入れて、正しく「発音させる」指導と正しく「書く」指導を関連させて行い、英語の音声的な特徴を理解させる。</li> <li>・ スピーチ、ペアワークの機会を積極的に設ける。</li> </ul>	<p>補充的な学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師の示す例を読ませ、反復練習させる。主語を変えるなどして、簡単なやり取りをさせながら定着させる。</li> <li>・ A L T との T T の授業を活用し、個の実力に合わせた内容での会話を実践する。</li> </ul> <p>発展的な学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 慣用表現などを用いて、より英語らしい表現を身に付けさせる。読めて書けるようにする。</li> </ul>
	<p>&lt;「書くこと」の授業改善&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書こうとする意欲を高めていく指導を充実させる。</li> <li>・ 書けるという自信をもたせる指導を徹底する。</li> <li>・ 単語・英文を正しく書く指導を徹底する。</li> <li>・ 他の技能と関連付けて指導をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業で習得した語彙や表現を書いて記憶する学習を設定する。</li> <li>・ 作文指導などの記述場面を多く設定する。</li> <li>・ 基本となる例文を正しく書けるようになるまで、何度も反復練習をさせる。</li> <li>・ まとまりのある長めの文章を指導する際、展開例を示した上で取り組ませ、生徒に書かせたものを適宜添削する。</li> </ul>	<p>補充的な学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音声指導を行った文や語句をノートやワークシートに丁寧に記録させる。記録したものを見ながら読ませる。</li> <li>・ テーマに関連のある単語を書かせる。過去形や不定詞、動名詞などを使って、日記など簡単な英文を作らせる。</li> </ul> <p>発展的な学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知らない単語や表現などを自分で調べて、英文を書く。</li> <li>・ 辞書やインターネットなどを積極的に活用させる。</li> <li>・ スキットを作らせ、発表させる。</li> </ul>
	<p>&lt;「読むこと」の授業改善&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会話や文章の展開や流れを理解させる指導を徹底する。</li> <li>・ 1文ごとの意味だけでなく文章全体を把握できるように指導する。</li> <li>・ 文章全体の概要把握の指導と同時に、文章内の特定の情報を読み取る指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2～3文をひとつのセットとして前後関係を読み取っていく指導を徹底する。</li> <li>・ 教科書の基本文を十分活用する。</li> <li>・ 常に 5 W 1 H を意識させて読み取らせる指導を徹底する。</li> <li>・ 読後の質問などを工夫し、内容を正確に把握しているか確認する。</li> </ul>	<p>補充的な学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5 W 1 H の一つまたは二つに着目させて読ませる。</li> </ul> <p>発展的な学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英文の概要、要点を訳すのではなく、日本語を用いて口頭または簡単な文章で、即座に説明させる。</li> </ul>

様式 3

3 年	<p>&lt;「話すこと」、「聞くこと」の授業改善&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文中に強く読まれるところと、弱く読まれるところがあることを理解した後、練習させる。</li> <li>・ 複数の文がひとつのまとまりなることを認識させる。</li> <li>・ 音の連結を意識させ、より英語らしい発音ができるよう指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CDなどの各種教材や教師の英語を聞き取らせながら、発音やイントネーションに関する指導の充実を図る。</li> <li>・ 正しく聞き取らせるために、多く音読練習を取り入れ、英語の音声的特徴を体得させる。</li> <li>・ 教科書の内容理解に関する説明を英語で行い、Q &amp; Aを取り入れ適切な応答をさせる指導を行う。</li> </ul>	<p>補充的な学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師の示す例を読ませ、反復練習させる。定型練習を多くさせながら定着させる。</li> <li>・ ALTとのTTの授業を活用し、個の実力に合わせて内容での会話を実践する。</li> </ul> <p>発展的な学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 慣用表現などを用いて、より英語らしい表現を身に付けさせる。</li> </ul>
	<p>&lt;「書くこと」の授業改善&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書こうとする意欲を高めていく指導を充実させる。</li> <li>・ 語順に気を付けながら、文章を正しく書く指導を徹底する。</li> <li>・ 「話すこと」、「読むこと」と関連付けて指導をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業で習得した語彙等を用いて、表現させる。</li> <li>・ 基本となる例文を正しく書けるようになるまで、何度も反復練習をさせる。</li> <li>・ まとまりのある長めの文章を指導する際、展開例を示した上で取り組みせ、生徒に書かせたものを適宜添削する。</li> </ul>	<p>補充的な学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音声指導を行った文や語句をノートやワークシートに丁寧に記録させる。</li> <li>・ テーマに関連のある単語を書かせる。受動態や現在完了などを使って、簡単な英作文を書かせる。</li> </ul> <p>発展的な学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知らない単語や表現などを自分で調べて、英文を書く。</li> <li>・ 辞書やインターネットなどを活用して英文を書かせた後、発表させる。</li> </ul>
	<p>&lt;「読むこと」の授業改善&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会話や文章の展開や、流れを理解させる指導を徹底する。</li> <li>・ 複数の文をひとつのセットとして、前後関係を読み取っていく指導を徹底する。</li> <li>・ 1文ごとの意味だけでなく、文章全体を把握できるように指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 常に5W1Hを意識させて読み取らせる指導を徹底する。</li> <li>・ あらかじめ読み取りのポイントを与え、タイマーを使って短い時間で読み取る練習をする。</li> <li>・ 復習音読の際に内容に関する質問をして、内容を正確に把握しているかを確認する。</li> </ul>	<p>補充的な学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5W1Hの一つまたは二つに着目させて読ませる。</li> </ul> <p>発展的な学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英文の概要を英語または日本語で説明させる。</li> </ul>